

令和5年度 ECO-TOPプログラム 都庁インターンシップ実施報告

ECO-TOPプログラムでは、各団体の環境活動に関する理念、手法、方針等を学ぶとともに、様々な組織での対応能力を養うことを目的に、企業・NPO等・行政でのインターンシップを行うことになっています。

令和5年8月28日～9月1日の5日間、東京都環境局では行政でのインターンシップとして9人の学生の受入れを行いました。今年度は東京都生物多様性地域戦略の改定に合わせ、行政による生物多様性の普及啓発事業の提案をテーマに実施しました。

野外実習では、明治の森高尾国定公園（高尾山）の自然公園の事業紹介、八王子長房緑地保全地域での保全活動の体験など、都の自然環境の現場について実際に見て、体験してもらいました。

現地で経験したこと等をふまえて、都による「生物多様性の普及啓発事業の提案」をテーマに議論を重ね、最終日にはグループごとに提案内容の発表をしました。

日程	実習内容	場所
8月28日（月）	オリエンテーション 環境局自然環境部の業務紹介、生物多様性について（講義）	都庁内会議室
8月29日（火）	自然公園の概要と都の取組について（講義、実習）	明治の森高尾国定公園（高尾山）
8月30日（水）	保全地域制度と生物多様性保全に係る取組について（講義） ボランティア団体による管理手法について（実習）	八王子長房保全地域
8月31日（木）	課題解決策の議論、発表資料作成、中間発表	都庁内会議室
9月1日（金）	課題解決策の発表、意見交換	都庁内会議室



保全地域での実習の様子



最終日の発表の様子